

## 『住みたい・住み続けたい』

## 心豊かに暮らせるまちづくり

**明** けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、町政運営に関しましては、特段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

**と** て、現下喫緊の課題として、新型コロナウイルス感染症の流行の継続、それに伴う人流の停滞による各種産業、ことに観光業の大幅な落ち込みは、基本的な感染症対策の徹底や新しい生活様式が定着し、ワクチン接種が進むことでやや持ち直しの傾向が見え始めたものの、地域経済が回り始めたことで再び感染拡大局面に入り、厳しい状況が続いております。また、

今冬は、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されるところでもあります。引き続き医療関係機関と連携を図りながら、ワクチン接種体制を継続しつつ、町民の安全で安心な日常生活を取り戻すため、様々な施策を着実に展開してまいります。

**ま** た、コロナ禍の影響で遅れが生じていた町立診療所の建設です

が、ようやく着工にこぎつけることができました。町に真に必要な診療所として令和5年度開所を目的に引き続き整備を進めてまいります。

**昨** 今頻発する災害への対応も喫緊の課題であります。昨年8月には、各地で記録的な大雨に見舞われ、

県内でも津軽地方を中心に甚大な被害をもたらしました。本町においては、幸い河川の大きな氾濫には至らず、人的被害や住家被害はありませんでしたが、農地の冠水や土砂崩れ、道路の法面崩壊など多数の被害が発生し、現在も早期復旧に向けて災害復旧事業に取り組んでおります。「災害に強いまちづくり」の重要性を再確認したところであり、非常用物資の備蓄や消防車両の更新等を継続し、また、防災拠点となり得る役場庁舎の建て替えにつきましても、新年度から本格的に検討を進めてまいります。

**町** の主要産業の農業振興策は、生産者の足腰を強靱にするべく、農業生産施設整備に対しての支援強化、コロナ禍での物流停滞や国際情勢

などによる資材高騰への支援や減収対策支援など、多面的で重層的な対策で農業を支えてまいります。

**ま** た、「湯の郷おおわに健康長寿宣言」の下、様々な健康推進事業に取り組んでまいりましたが、令和4年4月から高校生までに拡大した医療費無料化を継続し、また、産婦健診費用の助成など、子どもを産み育てやすい町の実現を目指してまいります。

**現** 在策定を進めている第6次町振興計画については、人口減少・少子高齢化の進行に加え、コロナ禍における新しい生活様式への変化、原油・エネルギー価格その他物価の高騰など、これまで経験したことのない時代への転換期を迎える中、本町が飛躍していくため、今後10年間の目指すべき町の姿をしっかりと定めてまいりたいと考えております。

**行** 政需要が複雑多様化する中、財政状況は依然として厳しい状況ではありますが、合理的で機能的な行政運営に努め、引き続き財政規律を堅持し効果的な財政運営を推進

していくとともに、最重要課題である人口減少の克服、町の主産業である農業を主体とした事業承継、産業振興及び観光振興など、今後も積極的に取り組んでまいれる所存です。

**す** べての町民の笑顔を守るため、これからも「安全・安心」に

「健やか」で「心豊か」な暮らしができ、また、「温かい」と感じ「住みたい、住み続けたい」と思っていただけるよくなまちづくりに、職員と一体となつて取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**本** 年が町民の皆様にとりまして、健康で実り多い年となりますよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

